

# 平成28年度 事業報告

第二青陽園

計 画	実施状況
<p><b>1 事業</b></p> <p>(1) 特別養護老人ホームの経営 定員90名</p> <p>(2) 老人短期入所事業の経営 定員10名</p>	<p>計画どおり</p>
<p><b>2 経営方針</b></p>	<p>計画どおり</p>
<p><b>3 行動指針</b></p>	<p>計画どおり</p>
<p><b>4 収支目標</b></p>	
<p>特別養護老人ホームの長期入所年間利用率を98%、短期入所生活介護事業年間利用率を90%とする。</p>	<p>長期入所利用率 95.4%</p> <p>短期入所利用率 104.7%</p> <p>合計稼働率 96.3%</p> <p>平均要介護度 長期3.9 短期2.8</p>
<p><b>5 実施内容</b></p>	
<p><b>(1) 施設の安心・安全な運営</b></p>	
<p>①社会的な信頼の確保と向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第三者委員参加のもと、苦情防止解決委員会を開催し、苦情に対し誠意をもって対応する。</li> <li>適切な個人情報管理を行うため研修等を実施する。</li> <li>第三者評価の受審結果をもとに、利用者サービスの向上に繋げる。</li> </ul>	<p>①苦情防止解決委員会を4回開催し、第三者委員の方に、利用者の日常生活を見ていただくことが出来、利用者にとっても意見を言える機会を増やすことが出来た。</p> <p>本部主催の個人情報保護研修に参加し、新人研修においても個人情報保護の重要性について説明を行った。</p> <p>第三者評価を受審し、良好な評価を得る事が出来た。</p>

<p>②医療体制の維持</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・嘱託医の定期診察により、慢性疾患等の管理及び認知症等に対し、適切な対応を行う。</li> <li>・看取り期の対応を充実するため、主治医、看護師、相談員が連携し、利用者及び家族等の終末期医療ニーズを把握し、同意のものと的確に対応を行う。</li> </ul>	<p>②非常勤医師を4名配置し、急変時等については、昼夜問わず、医師と医務課が連携し対応した。</p> <p>八王子高齢者救急医療体制広域連絡会（八高連）への加入により、迅速で安全な救急搬送体制と受入先となる病院等との連携が強化された。</p> <p>終末期について、家族等の意向に沿って13名の看取り看護を行った。</p>
<p>③防災体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防火管理委員会を計画的に開催し、組織的な防災体制の充実を図る。</li> <li>・定期的な防災訓練、定期点検を実施する。</li> </ul>	<p>③避難訓練を6回実施した。</p> <p>防火管理委員会において、避難訓練等の検証を行い防災体制の充実を図った。</p> <p>専門業者による消防設備点検を6月と11月に行った。</p>
<p>④事故、感染症等の防止</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事故防止委員会を定期開催し、ヒヤリハット及び事故報告書を分析し事故防止体制を強化する。</li> <li>・感染防止委員会を定期開催するとともに、感染症について研修を行い、職員の知識を高める事により、感染症予防及びまん延の防止体制を強化する。</li> </ul>	<p>④事故防止と感染症防止について、園内研修を実施した。</p> <p>事故防止委員会において、各フロアより事故報告を行い、対策等について検討を行った。</p> <p>感染防止委員会において、周辺地域の感染症の発生情報等を共有し、職員に対し注意喚起を行った。</p> <p>手洗い・うがいの徹底、手指用消毒液を使用し感染症防止体制を充実させ、流行期には、居室内での面会実施や生食の持込み制限などの協力を得た。長期入所利用者のインフルエンザ発症者はなかった。</p>
<p>⑤虐待の防止及び早期発見・拘束ゼロの徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・尊厳保持・虐待防止・身体拘束防止委員会を定期開催し、身体拘束ゼロ、虐待ゼロを継続するため、外部研修への参加や園内研修を実施する。</li> </ul>	<p>⑤尊厳保持・虐待防止・身体拘束防止委員会を年4回開催した。</p> <p>ユニット毎の3ヶ月目標を設定し尊厳保持・虐待防止・身体拘束防止に取り組んだ。八王子市主催の高齢者虐待防止に関する研修に7名の職員が参加した。</p>
<p>⑥建物、設備の維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全衛生委員会において、設備等の不具合について適宜確認し、必要に応じて改善を行うとともに定期的に建物・設備の点検を実施する。</li> </ul>	<p>⑥衛生管理者が、危険箇所が無い定期巡回により館内をチェックした。</p> <p>月1回の安全衛生委員会において、設備不具合等について、各委員からの報告により確認した。</p>
<p><b>(2) 社会・利用者ニーズへの的確な対応</b></p>	
<p>①個別サービス計画について、組織的な見直しを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設サービス計画に基づき、個別の24シートを作成し、利用者及び家族等の要望にあったサービス提供を行う。</li> <li>・提供しているサービスの評価を定期的に行い、サービスの質向上に努める。</li> </ul>	<p>①ケアプラン方針会議を開催し個別サービス計画を組織的に見直しを行った。</p> <p>個別の計画書を作成し、家族等の同意のうえサービス提供を実施した。</p> <p>サービス計画を評価し、ケアプラン会議において、ご家族等の意向等を確認し、関係職員がサービス内容について検討することで、サービスの質の向上に繋げた。</p>

<p>②利用者・家族等の意見、要望の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者及び家族等に、ケアプラン会議へ出席していただき、利用者及び家族等の要望を把握する。</li> <li>・利用者が園長に、直接意見が出来る機会を設ける。</li> <li>・定期的な懇談会の開催により、利用者及び家族等と園との緊密な意見交換を図る。</li> <li>・利用者アンケート調査を実施し、意見や要望の把握に努める。</li> </ul>	<p>②家族等に出来る限りケアプラン会議に出席していただき、利用者及び家族等の意向を反映したサービス計画を作成する事で、施設サービスについて、理解をしていただくことが出来た。</p> <p>園長が、毎日各フロアを巡回し、利用者が直接意見を言える機会を設けた。</p> <p>家族懇談会を2回開催し、家族等の意向を直接聞き取る機会を設けた。</p> <p>11月の第三者評価受審時に、利用者及び家族にサービスに対する調査を実施した。</p>
<p>③サービス計画に基づくサービスの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の24シートに基づき食事、入浴、排せつ等のケアを実施する。</li> <li>・個別の機能訓練計画を作成し、日常生活動作の維持改善を図る。</li> <li>・選択食や季節感を取り入れた行事食等、きめ細かな食事サービスを実施する。</li> </ul>	<p>③個別の24シートに基づき、利用者ごとの生活時間帯を職員が把握し、食事、入浴、排せつ等のケアを実施した。</p> <p>機能訓練指導員がユニット職員と連携し、個別に利用者の日常生活動作の改善について機能訓練計画を立てて維持改善に努めた。</p> <p>季節ごとの献立を提供したり、選択食を実施し食事サービスの充実を図った。</p>
<p>④各種行事等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間計画に基づき、お花見会、敬老会、夏祭り等の全体行事を実施する。</li> <li>・利用者の要望をもとに、職員が計画立案する、ユニット活動を実施する。</li> <li>・書道、カラオケ、手工芸、風船バレー、俳句、将棋クラブ等のクラブ活動等の充実を図る。</li> </ul>	<p>④お花見会、敬老会、夏祭りの法人行事に加え、誕生会や外出活動をユニット毎に実施したり、クリスマス忘年会や運動会などフロア合同で準備開催し、利用者及び家族等に喜んでいただけた。</p> <p>書道、カラオケ、手工芸、風船バレー、俳句、将棋クラブ等を、ボランティアの協力を得たり、各部署で担当しながら実施し、毎回ご利用者に楽しんでいただけた。</p>
<p><b>(3) 事業の安定的・効率的な運営</b></p>	
<p>①経営感覚の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定例会にて毎月の収支を明らかにし、目標に対する進捗状況や経営状態を各職員が理解・把握する。</li> <li>・省エネ・節電等により、経費の節約に努める。</li> </ul>	<p>①幹部会で、毎月の収支報告を行い、各部署の担当者が収支の状況を理解する事が出来た。</p> <p>ユニット職員自ら居室のエアコンフィルター清掃等を実施し、省エネを意識付けた。</p>
<p>②業務の簡素化・効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各部署で業務の効率化を積極的に検討し取り入れていく。</li> <li>・利用者管理システムを活用する事により、業務の効率化と簡素化を図る。</li> <li>・介護用品の導入により、介護負担の軽減を図る。</li> </ul>	<p>②業務委員会において、マニュアルの更新を行い、業務内容の見直しを行った。</p> <p>利用者管理システムや社内ネットワークでの共有文書の運用など効率化を進めた。</p> <p>介護用品の購入および腰装着型介護ロボットの導入を進める事で介護負担の軽減を図った。</p>

<p>③入居を計画的に安全に進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の入居前の状況を確認し、施設サービスがどのように提供されるかを説明し、利用者及び家族等が安心して入居出来るようにする。</li> <li>・空床が発生した場合の、新規入所及び入院時のベッド利用を円滑に行う。</li> <li>・在宅介護が困難となった、介護度の高い方の入居を優先に行う。</li> </ul>	<p>③重度者の方を積極的に受け入れた。</p> <p>入所前に生活相談員から、重要事項説明書をもとに丁寧な説明を行う事により、利用者及び家族等の不安が解消された。</p> <p>空床が発生した場合は、待機者と即日連絡を取り、入所日について相談すると同時に、入所日までの期間は短期利用者を積極的に受け入れた。</p> <p>各居宅介護支援事業所と連絡し、在宅介護が困難となった方について相談を受け、入所切替等を進めた。</p>
<p><b>(4) 職員の知識・技術の向上と職場の活性化</b></p>	
<p>①知識・技術の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設内において定期的な研修を実施する。</li> <li>・外部研修への積極的な参加とその成果を活用する。</li> <li>・アクティブ福祉イン東京への発表やマニュアル等の見直しなどを行う。</li> <li>・資格要件加算等に必要な各種資格を取得する際の支援体制の充実を図る。</li> </ul>	<p>①内部、外部研修を計画的に受講させた。</p> <p>年間の研修計画を作成し、月2回施設内研修を実施した。</p> <p>青陽園介護職員初任者研修へ2名の職員が受講し修了した。</p> <p>今年度のアクティブ福祉イン東京に、機能訓練指導員と短期入所担当介護員の2名が発表を行い、機能訓練指導員の発表ではリハビリテーション・レクリエーション部門で東京都福祉保健局長賞を受賞した。</p> <p>介護福祉士資格取得祝金に加えて受験資格要件の実務者研修に修了祝金の支給を設定し、支援の充実を図った結果、介護福祉士国家試験に4名が合格した。</p>
<p>②職員の確保・定着</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青陽園と協力し、福祉専門学校や高等学校との連携強化を図る。また、新卒者向け採用説明会等の開催を行い、人材確保を図る。</li> <li>・職員が業務に対する充実感、達成感等を持てる職場環境の整備を行う。</li> </ul>	<p>②青陽園と共同で、新卒向けの就職説明会を実施した。</p> <p>福祉専門学校や高等学校への職員採用情報提供を行った。</p> <p>職員が自主勉強会を提起し園内で実施する取組みを奨励した。ユニットケア推進委員会を立ち上げるための検討を実施した。</p>
<p>③法人内施設との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職員初任者研修に講師を派遣する。</li> <li>・行事や研修等においては、青陽園を始め各施設と積極的に交流を行い、情報の共有による一体感を醸成する。</li> </ul>	<p>③介護職員初任者研修に、第二青陽園から講師を6名派遣した。</p> <p>カフェさくらを青陽園及び高齢者あんしん相談センター川口と合同で開催する中で情報・意見交換を積極的に行い、情報や目的の共有を図り一体感を高めた。</p>

## (5) 地域、後援会との連携

<p>① 地域等連携事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・青陽園及び地域包括支援センター川口と共催し「いきいき健康相談」「認知症カフェ・さくら」「介護予防教室」を引き続き実施し、地域の介護予防に取り組む。</li><li>・園の全体行事、法人主催の夏祭り・防災訓練・チャリティバザー等をとおして地域、後援会との交流を図る。</li><li>・ホームページの更新と広報誌の定期発行を行い、広く情報提供を行う。</li><li>・五町会との懇談会に参加し、園の情報提供及び地域の情報収集に努める。</li></ul>	<p>①青陽園、高齢者あんしん相談センター川口の合同で「カフェさくら」を毎月実施し参加者延400名であった。また、介護予防教室を年19回実施し、延635名の参加があった。地域に貢献できるように、これを継続していく。</p> <p>後援会と地域住民の方の協力を得て、また法人内の事業所と連携し、夏祭り、チャリティバザー、合同防災訓練等を開催した。</p> <p>お花見会と敬老会で、日常生活の様子や季節ごとの行事等のスライドショー上映を行い家族等に見ていただき好評を得た。</p> <p>近隣五町会長との懇談会に園長が参加し、地域の情報や要望等情報収集に努めた。</p>
<p>②ボランティアの積極的な受入</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ボランティアの持つ知識や技術を、利用者の生活やクラブ活動に活用する。</li></ul>	<p>②今年度、囲碁をされるご利用者のお相手をしてくださる囲碁ボランティアの方の受け入れを始めた。年間で10グループ22名のボランティアの皆さんに活動していただいた。</p>
<p>③高齢者関係機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・東京都、八王子市との情報交換等を積極的に行う。</li><li>・東京都社会福祉協議会、八王子市社会福祉協議会等との連携を図る。</li><li>・定期的に八王子施設長会に参加し、他施設との情報交換を行う。</li><li>・地域の医療機関との勉強会や情報交換を行う。</li></ul>	<p>③指導実地検査や待機者実態調査など八王子市からヒアリングを受ける中で様々な意見や情報を交換できた。</p> <p>東京都社会福祉協議会主催の研修や情報交換会に参加した。社会福祉法人会計決算実務研修に2名延5日間参加した。</p> <p>八王子施設長会に参加し、他施設との情報交換や交流を行った。</p>